

札幌水源の森づくり2016

～「山の日」記念～

街の中でひとり一本苗木づくり 次代へ引き継ごう「水源の森」

定山溪国有林は、札幌市民にとって豊かでおいしい水を育む大切な水源の森です。

この水源林である国有林の重要性を多くの人に知っていただき、水源の森との関わりを深め、貴重な財産として次代へ引き継いでいくことを目的として、平成16年から毎年、札幌市と連携し、水源の森に植えるポット苗木を市民のみなさんによっていただくイベントを開催しています。

8月27日、札幌市創成川公園・狸二条広場において、「札幌水源の森づくり2016」が開催されました。



漣上局長の挨拶

予定していたポット苗木（カミネツコン）400個が完成し、定山溪の山をイメージした台に飾られました。



会場では多くの方にポット苗木を作っていただきました

会場では、カミネツコン（再生紙段ボール）を利用した「ポット苗木づくりコーナー」や森と水に関する理解を深めていただける「森のコーナー（パネル展示）」、「花の苗プレゼントコーナー」、森林や水についてクイズを答えながら学ぶ「クイズラリー」、東日本大震災被災地へ送る「きぼう（木棒）」にメッセージを添える「きぼう（木棒）のコーナー」などを行い、多くの参加者の皆様方に楽しんでいただきました。



「山の日」のハッピーPRするどんぐりくん

このポット苗木（カミネツコン）は、10月上旬に定山溪の水源の森（国有林）に植え、やがて大きく成長し豊かな森林になっていきます。



きぼう（木棒）のコーナー



↑クイズラリーの様子